



今年には新型コロナウイルスの流行により保育園の生活も感染症対策を行いながら例年とは異なる保育園生活となりました。登園の玄関対応や消毒・検温と保護者様のご協力をありがとうございます。園では、新型コロナウイルスだけでなく感染症の流行も無く過ごすことができました。今後もまだまだ気が抜けない状況が続きますが、園では全職員が、感染症の対策を踏まえて、子どもたちと楽しい保育が行えるようにまた、その環境を整えていく事に努めていきたいと思ひます。来年も宜しくお願ひ致します。

<12月保健行事予定>

- 1日(火) 9:30～ 幼児身体測定
 - 2日(水) 9:30～ 乳児身体測定
 - 11日(金) 9:45～ 0・1・2歳児
園医健診
 - 25日(金) 9:45～ 0歳児園医健診
- ※保健指導：手洗い指導(チェッカー使用)

園での感染症は

11/13 アデノウイルス：1名
港区の保育園では、胃腸炎の発生が聞かれています。また、新型コロナウイルス感染症の感染者増加があり、慣れてしまわないで、感染予防の対策を個々が自覚して行動していきましょう。保育園では、3蜜は避けられません。体調の変化がある場合は、家での様子を見て頂ければと思います。ご

ノロウイルスに要注意

冬場に増えるノロウイルスは、通常10月から2月ごろまで感染のシーズンが続きます。ウイルスはカキやアサリなどの二枚貝に蓄積されますが、貝類からの感染により、感染者のおう吐物、排せつ物からうつる2次感染のケースが多いようです。

感染すると、激しい下痢やおう吐、腹痛があり、38度以上の発熱も伴います。今のところ、感染予防のワクチンや治療薬は開発されていないため、症状が出たら水分を補給しながら回復を待つしかありません。予防としては、感染例が報告されている間は二枚貝は加熱して食べる、また食事の際にはせっけんでよく手を洗う、などです。ノロウイルスを殺すことはできませんが、手から洗い流すことができます。

感染者は症状が回復しても、その後1週間～1か月間、排せつ物とともにウイルスが体外に出るといわれています。発症から1か月ほどは排せつ物に触れないように気をつけ、触れる危険性がある場所は、塩素系消毒剤をしみこませた布などでふくようにしましょう。

冬の肌荒れ対策

空気が乾燥する冬は、お肌も乾燥する季節。特に子どもは、肌のバリア機能が未発達のため荒れやすいのです。日々のケアを心がけデリケートな肌を守りましょう。



子どもたちが心待ちにしているクリスマスにお正月。年末年始は、外出や来客なども例年と異なり家で過ごすことが多くなるのではと思います。休み中も、早寝早起きを心がけ、規則的な生活リズムを崩さないようにまた、免疫力を落とさないようにしましょう。新しい年、また元気な顔に会えることを楽しみにしています。

